

令和5年度第2回利用者懇談会議事録

令和5年度 第2回 生涯学習センター利用者懇談会
日時： 令和6年3月29日（金） 19時00分～21時00分
場所： 東久留米市立生涯学習センター 学習室4
出席者： 利用者懇談会委員 【学識経験者】1名 【利用者代表】3名 【指定管理者】施設長、設備管理責任者 【関係行政機関職員】生涯学習課長（生涯学習課係長帯同） 事務局 【指定管理者】副施設長 欠席者：1名（会長） 8名の委員の内7名が出席、過半数の出席にて会議を開催 開催の目的 指定管理者が管理運営を行う東久留米市立生涯学習センターの指定管理期間中の運営を適正かつ円滑に行うために、市民のご意見等を伺う場として利用者懇談会を設置する。
議題： (施設長) 「生涯学習センター利用者懇談会設置要綱」には「第3条 懇談会は、委員10人以内で構成する。」とあり、現在委員の方は合計8名。 本日は、8名中7名の委員にご出席いただき、「生涯学習センター利用者懇談会設置要綱」第6条に定める「過半数」に達していることをご報告する。 これまで同様当懇談会は原則として公開扱いとなり、事前に傍聴希望者へのご案内をHPに掲載している。傍聴希望者がいる場合は後ほど入室していただく。（→傍聴者なし） 今回の議事録については前回同様、後日委員の皆様にご確認いただいた後、センターHPで公開する。 それでは会を進めるにあたり、初めに本日用意した資料を確認させていただく。 〈配布資料〉 1. 次第 2. 資料1 令和5年度東久留米市立生涯学習センター利用統計 3. 資料2 令和5年度東久留米市立生涯学習生涯学習センター事業一覧【実績報告】 4. 資料3 令和5年度施設維持管理報告【実績並びに今後の予定】 5. 資料4 令和6年度東久留米市立生涯学習センター事業計画 6. 資料5 令和5年度生涯学習センター利用者アンケート集計結果 7. 資料6 東久留米市立生涯学習センター利用者懇談会委員名簿 1. 開会（進行役 施設長） それでは次第に沿って進めさせていただく。次第の1～4までの進行を私のほうで務めさせていただく。 2. 市担当者紹介（生涯学習課より自己紹介と挨拶） 3. 設備管理者、事務局紹介（設備管理責任者、副施設長より自己紹介と挨拶） 4. 副会長挨拶 令和5年度はコロナ規制が緩和され、人と人とのつながりが分断されていた中、人と人とのつながりが回復してきていると感じる。生涯学習の「学習」という響きは受け身のイメージがあるが、学習は受け身ではなく自己表現・自己実現の手段であると考え。人と人がつながって、お互いに自己表現をして、それを刺激としてさらに自己実現していくという循環が生涯学習センターで展開されることを期待する。 今日は色々な意見を交換できればと思う。

5. 報告（進行役 副会長）

次第に沿って、令和5年度事業実績「運営・自主事業」に関して施設長より、「施設維持管理報告」を設備管理責任者に報告をお願いします。

（施設長）

●資料1 令和5年度東久留米市立生涯学習センター利用統計

「1.生涯学習センター利用者実績」

全体的な利用総数としては2月末までで、前年比で、利用件数107%、利用人数で126%、2018年対比で、利用件数89%、利用人数で89%と着実に回復してきております。

特に本年度はホール利用が大きく活性化し、利用者昨年対比で134%とホール利用での活動が活発となり、大きく伸びている。

10月11月に例年おこなわれている市民文化祭もコロナ前の規模に戻り、利用人数ベースでは前年比164%。さらに、保谷こもれびホールや練馬文化会館が改装休館中ということもあり、代替施設としてホール利用する団体がいた。

本年度の3月末の見通しは12万人程度になる見込み。令和元年の11万7千人を上回り回復してきている。来年度は13万人までの回復はもちろんだが、それを大きく上回る利用人数を目指し取り組んでいく。

「2.午後利用者推移」

令和5年度の午後利用合計は2月までの実績で利用件数3,281件、利用人数で32,211件となっている。

昨年2月までの累計が利用件数3,097件、利用人数が27,139名。件数前年比114%、利用人数対比127%。他の時間帯別の利用人数比較は、前年対比で午前中が102%、夜間が125%という推移。夜間利用については昨年対比では大きく伸びているが、コロナ前の2018年度と比較すると64%程度と徐々に回復してきている。運動教室や子ども食堂などの新規夜間活動団体が少しずつ増えてきている。

「3.月曜日利用者推移」

2月までの累計構成比は7.3%という状況。

昨年と比較すると0.9%落ちこんでいるが、昨年人数対比では112%、コロナ前の2018年度と比較すると、本年は全体で89%まで回復してきており、月曜は91%という推移。構成比については、月曜が落ち込んだというよりも、ホール利用が上向いて土日の構成比が高くなっている影響とみられる。

曜日別構成比で一番高いのが日曜日29%、土曜日21%、火・水・金曜日11%、木曜10%日、月曜日が7%という内容で、月1回第4月曜日休館日であるため月曜日が一番構成比が低い。1週間単位の月～金曜日の平均利用人数で見ると、月曜日が227名、火曜日267名、水曜日270名、木曜日238名、金曜日259名となり、月曜日の利用人数が一番低いものの、それほど木曜と比べると大差ない利用人数かと考える。

●資料2 令和5年度東久留米市立生涯学習生涯学習センター事業一覧【実績報告】

※9月以降の実績を報告

（ホール事業）

ホール事業に関しては、年間9月以降9公演を実施、1公演実施予定。本年は、昨年までコロナ禍の感染防止対策の観点からで開催を見送っていたアウトリーチ、市民参加型事業で今回初開催の「まるにえサークルフェスタ」を実施している。

（生涯学習事業）

子供向け講座としては、放課後講座を9月～毎月1回の計7回実施致しました。

大人向け講座としては、好評頂いておりますスマホ講座、親子参加型講座を2講座、市民協働型講座の1講座を実施した。

(設備管理責任者)

●資料3 令和5年度施設維持管理報告【実績並びに今後の予定】

※8月以降での報告

16件実施。(8月2件、9月2件、10月1件、11月3件、12月1件、1月1件、2月2件、3月4件)

・市が行った修繕について(市からの報告)

非常灯のLED化半分完了、受変電設備修繕、フート弁修繕。

・指定管理者で行った修繕(追加報告)

ティンパニー修繕。

意見・感想

・「学習室開放」について

(副会長)

「春休み学習室」はあるか。学習室開放は居場所づくりとして長期休みごとにやっても良いのかもしれない。

(利用者代表)

9月～2月は大学生の課題が多いので利用の「春休み学習室」の需要があるかもしれない。

(利用者代表)

学校にはお知らせしているのか。中高生に届くツールは何か。直接お知らせする方法もありかと思う。

(指定管理者)

一方で、ロビーで長時間の使用をする中学生たちがいる現状もある。

(利用者代表)

居場所が無い子どもたちにとっては「関心を持ってほしい」「注意されたい」。気を引きたい子どもがいる。家に勉強する環境が無い子どもにとっては、学習室開放は需要があると思う。

(副会長)

ロビーに滞在する子どもに対して、サークル活動として異年齢でのコミュニケーションはできないだろうか。

(副会長)

次第に沿って、令和6年度事業計画について「運営・自主事業」に関して施設長より、ならびに「施設維持管理報告」を設備管理責任者に報告をお願いする。

(施設長)

●資料4 令和6年度東久留米市立生涯学習センター事業計画(運営・自主事業)

全館イベント 1イベント

ホール公演 9公演

生涯学習事業 9講座

その他 2事業を予定している。

(設備管理責任者)

資料3-1 令和6年度修繕工事他計画(案)

6件を予定。

(市が行う予定の修繕について)

誘導灯LED 後半部分

EV部品交換工事を予定

意見・感想

・自主事業の集客と開催時期について

(市)

アルプスの少女ハイジの集客が伸びなかった要因はどこにあるか。

(指定管理者)

時期の問題、集客だけを考えると夏休みが適切と考える。

一方で施設の空調の問題がある。施設の空調レベルが現状の気候変動(猛暑)に対応しきれていない。そのため夏場はホール内が暑くなってしまふ。夏休みに公演を開催するためには空調対策が必要。ホール内で使用できる電源量が限られているため、仮設クーラーなどの設置は難しい。来年度に向けて検討しているのは充電型の大型の扇風機(サーキュレーター)。

快適に観劇いただくには熱中症防止対策が重要だが、音のする扇風機(サーキュレーター)やスポットクーラーはクラシックコンサートでは支障があることが難点である。

(副会長)

世の中の的に熱くなっているのので、クーラーグッズ等を扱う企業を誘致してメーカータイアップの企画ができないか。

(利用者代表)

扇風機の風の音も聴覚過敏の人にとっては風の音が気になって参加できなくなってしまう。

(指定管理者)

今後夏場のホール公演の際は、これまでのように朝空調を入れてもホール内温度が快適な温度にならないのであれば、前日の夜から空調を入れてホール内を冷やしておくよう対策することも必要かもしれない。

(副会長)

令和5年度利用者アンケート集計結果について施設長より報告をお願いします。

(施設長)

●令和5年度下期 生涯学習センター利用者アンケート集計結果

WEBアンケートの回収率は非常に低かった。下期においては紙でのアンケートを交えてやったところ、回収率が上がった。

WEB23、用紙101、190団体にアプローチ。

意見・感想

・窓口での申請用紙の記入について

(副会長)

市の窓口は「書かない窓口」として書かないようになった。市の施設として足並みを揃えないのか。

(市)

それぞれ異なる法体系の施設を同じシステムで統合した経緯がある。そのため、現システムについては市民の方が分かり難く、使いにくい部分が多々あるという問題を抱えているため、「書かない窓口」までは至っていない。一方で電子決済は令和7年度で検討を始める予定。

6. 自由討論

意見・感想・報告

■市からの報告

指定管理者の選定がある。令和7年度以降の選定が始まる。

■学生主体のワークショップ事業開催についての要望

(利用者代表)

- ・学生発のプログラムがあっても良い。学生主体の企画でワークショップをするなど。
- ・高校生は意外にちゃんとできる。その機会を大人が奪っている。
- ・女子高校生が学校で女性の生理についてのワークショップをやった例があるので参考にしてほしい。
- ・男性の女性理解の促進につながるのではないか。
- ・さらに防災にも関わってくることである。
- ・性教育も今はやりにくいですが、女性側の視点からアプローチする形で、まろにえ祭りや防災講座の中で組み込めないか。

(副会長)

- ・市内の高校生に声をかけてみてはどうだろうか。

■「さりげない支援」について

(利用者代表)

- ・前回議題に上がったヤングケアラーの対応についての進捗はどうか。
- ・リアルにつながっていける仕組みが意外にない。
- ・生活状況から価値観が決まっていく。
- ・大人に助けてもらった経験が、いずれ自分が大人になった際の価値観を左右する。

(指定管理者)

- ・社会福祉協議会が取り組まれているのだが、配布されているリーフレットの情報が古いのが難点。
- ・健康課から出ている冊子（「気づいてますか？こころのサイン」）はロビー内にさりげなく置いている。

7. 事務連絡（副施設長）

今回は、令和6年度第1回利用者懇談会を8月頃を開きたいと考えている。詳細は直近になったらご連絡させていただく。

8. 閉会（副会長）

委員の皆様のご協力により本日の予定を無事終了することが出来た。
これにて、令和5年度第2回利用者懇談会を散会とする。

以上